

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 3月14日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	サービス建屋地下2階温水ボイラーNo. 2給水ライン逆止弁において、弁上部から水の滴下と床面に水溜まり(約4リットル)が認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、弁上部のパッキン交換により水の滴下は停止。 また、水は非放射性であり放射性物質の漏えいはない。	GⅢ	3月8日
2	2号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)において、渦流探傷検査により2164本の伝熱管のうち53本の減肉率が65%以上であることが認められたため、当該伝熱管を閉止。 なお、当該熱交換器の伝熱管はこれまで閉止したものはなく、伝熱管の閉止は104本まで許容されていることから、今回53本閉止しても熱交換器の性能に影響はない。	GⅢ	3月9日
3	1・2号廃棄物処理設備	廃棄物処理建屋1階消火栓(RW-10)において、消火ホース内に水が溜まり、溜まった水がホース先端部から漏れたことにより床面に水溜まり(約1リットル)が認められたため、消火栓内の弁の増し締めを行い滴下は停止。 なお、水は非放射性であり放射性物質の漏えいはない。	GⅢ	3月8日
4	3・4号廃棄物処理設備	高電導度廃液系加熱器(B)凝縮水導電率計(P33-CE507B)において、導電率計の取付部から水(非放射性)の滴下(5秒に1滴)が認められたため、当該計器の取付部を増し締め。 なお、水は非放射性であり放射性物質の漏えいはない。	GⅢ	3月8日